

農業会議の現地推進役が 農業委員会・行政と連携して

地区連で「地域計画」を推進

【令和5年度】**現地推進役** みなさんの活動を 21名の現地推進役が農業委員会、市町村、京都府等と連携して活動します。

地域のこと、農地のこと、
担い手のこと……
まずはみんなで
話し合いましょう！

丹後ブロック

丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205
丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205

中丹ブロック

丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205
丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205

南丹ブロック

丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205
丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205

京都・乙訓ブロック

丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205
丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205

山城ブロック

丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205
丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205	丹波市 丹波市市長 丹波 英雄 080-9464-7205

現地推進役は農業委員会の元事務局長や京都府の元職員など、経験豊富な60～70代で構成

農業経営基盤強化促進法改正に対応した「地域計画」策定の取り組みを推進するため、京都府農業会議の「現地推進役」(①チラシ)が農業委員・農地利用最適化推進委員と連携し、各地域で活動を強化する。

現地推進役は、農業委員会の現地活動の拠点となる「地区連絡会議(略称「地区連」)」に農地中間管理事業の現地コーディネーターとして参画し、関係機関と力をあわせて目標地図による農地貸借を推進する。

4月から総括推進役に就任し、700人の委員と共に、各地域の課題解決に奔走する小森聡さんは、今年3月に山城広域振興局(農業委員会協議会事務局)を退職し、これまでの経験を農業振興に役立てるため農業会議の総括推進役に着任した。

京都版では、今月から現地推進役が「想い」を交代で執筆します。

現場の想い

◆私が京都府職員となつた昭和60年代は、米の転作目標の達成が至生命題だった。当時の転作率は約20%で、府南部ではすでに園芸が盛んだったが、米作中心の中北部では黒大豆・小豆を中心に

◆私が京都府職員となつた昭和60年代は、米の転作目標の達成が至生命題だった。当時の転作率は約20%で、府南部ではすでに園芸が盛んだったが、米作中心の中北部では黒大豆・小豆を中心に

◆私が京都府職員となつた昭和60年代は、米の転作目標の達成が至生命題だった。当時の転作率は約20%で、府南部ではすでに園芸が盛んだったが、米作中心の中北部では黒大豆・小豆を中心に

農業ビジネス商談会・展示会

売り手募集開始

10月25日に「みやこめ」会・展示会2023のついでで開催される「きようとう農業ビジネス商談会」の農林漁業者と全国の販売業者をマッチングさせ、販路開拓を支援する。今回初めてフリー商談ブースを設け、買い手の事前予約無しでも商談可能となる。出展方法も、①事前登録

与謝野ホップのクラフトビール

新工場で町を活性化

クラフトビール「ASOB」を手にする濱田社長

京都

京都府支局 京都府農業会議

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2
府庁西別館内
075・441・3660

京田辺市 本林千治さん

休日は親子で農作業！

本林千治さん(49)は、京田辺市大住地域で休耕地や借り手がない農地を引き受け、約1畝で特産のナス、水稲、花卉などを栽培している。ナスの連作障害を抑える土壌改良や微生物活用の取り組みに加え、同志社大学京田辺キャンパスで活動する馬術部に譲り受けた馬糞を堆肥化して使用するなど、工夫しながら経営改善を重ねている。(京田辺市農業委員会)

本林千治さん(右)と千太郎さん

女性委員が 「つないで発信」

3年ぶり うめ梅まつり

『女性農業委員のお店』大盛況！

綾部市豊里地区で3月12日、3年ぶりにうめ梅まつりが開催され、丹精込めてつくったコ

高橋委員(右)と居相雅代委員(中央)、林多嘉子委員(左)

与謝野町岩滝の俵ローカルフラッグ(濱田祐太代表取締役)は、与謝野町産ホップを使用したクラフトビールの醸造工場『丹後屋醸造』を、7月1日、与謝野駅前においづる(製造は秋以降の予定)。

濱田社長は、地元丹後の活性化をめざし、2019年、大学在学中に同社を設立。町内産のホップを使用したクラフトビ

これまで製造を他県に委託していたが、地元の工場建設で、醸造から販売まで与謝野町でできることになる。できたてを味わえる飲食スペースも設ける予定だ。

「地元で雇用を生み出し産業を育てたい。多くの観光客に与謝野ビールと丹後の海を楽しんでほしい」と濱田社長は話す。(与謝野町農業委員会)